

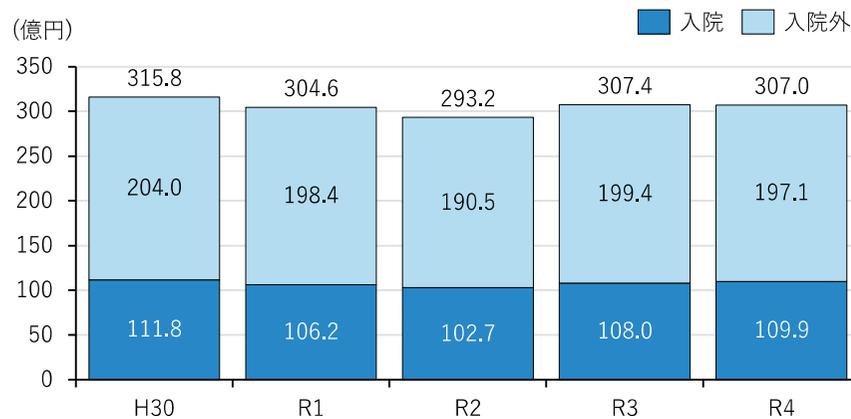
医療費等の各種分析資料
(抜粋)

令和5年9月1日

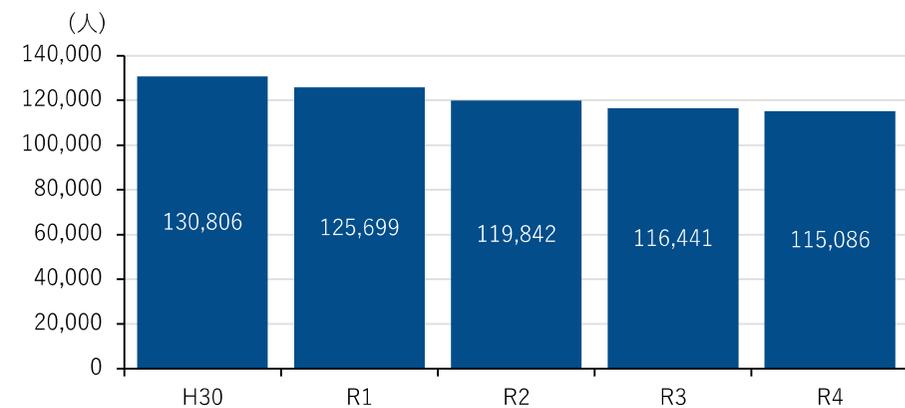
医療費の構成要素

被保険者数は減少傾向にあるが、総医療費は令和2年度で減少しているものの、令和3年度、令和4年度は令和元年度以上の水準となっている。

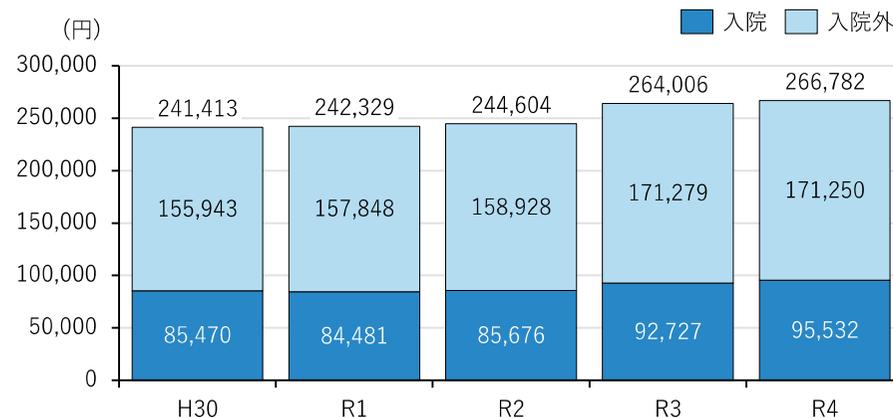
総医療費（経年推移）



被保険者数（経年推移）



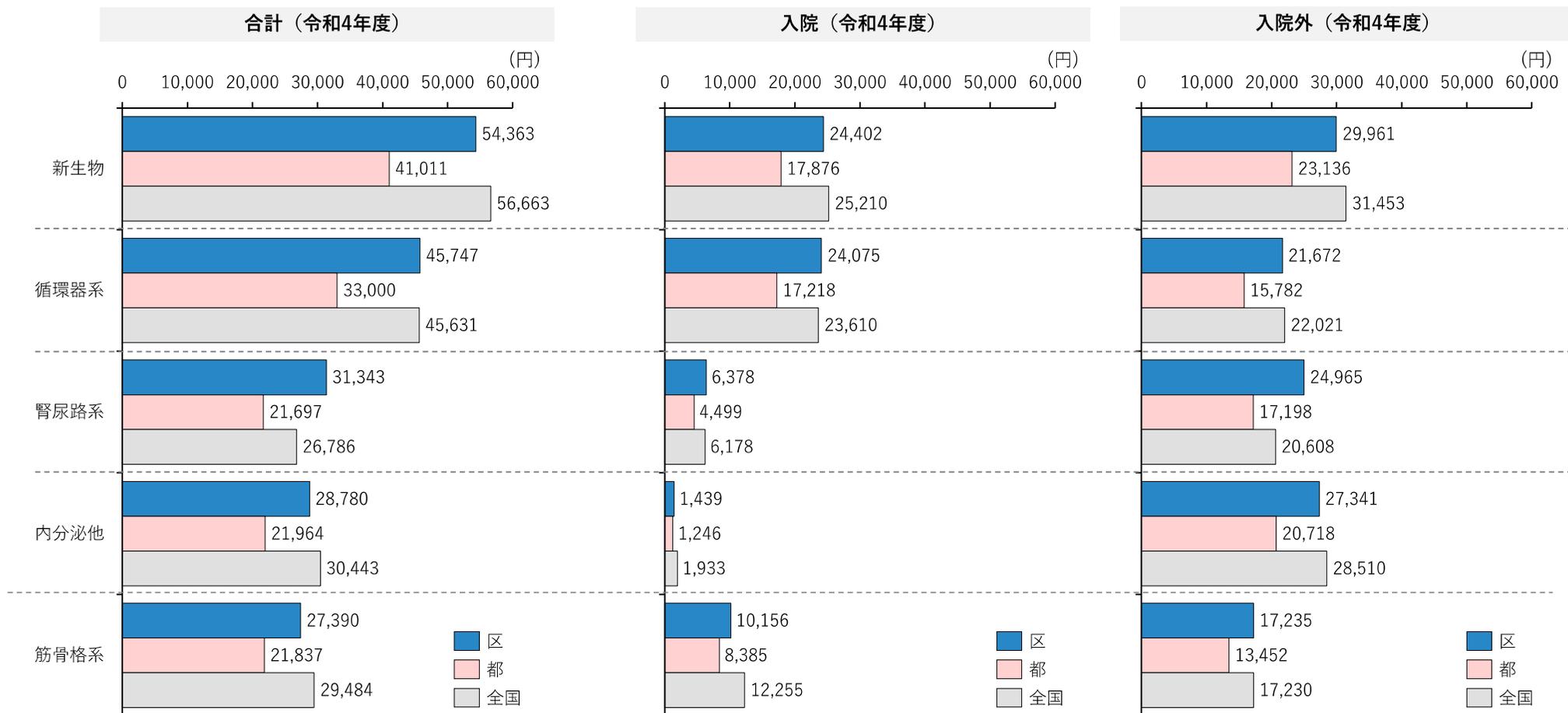
被保険者1人当たり医療費（経年推移）



出典：KDB_S29_002_健康スコアリング（医療）【平成30年度～令和4年度】

疾病分類（大分類）別1人当たり医療費推移_上位5位

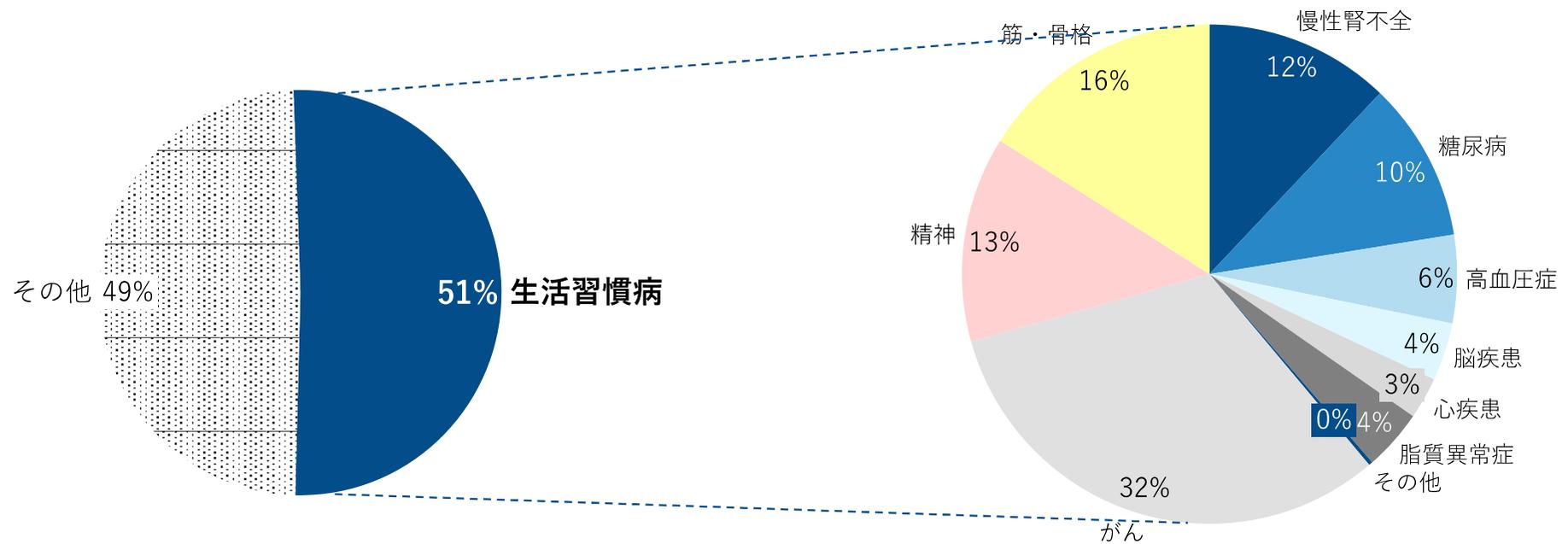
疾病大分類別の1人当たり医療費の上位5位は、新生物（54,363円）、循環器系（45,747円）、腎尿路系疾患（31,343円）、内分泌系（28,780円）、筋骨格系（27,390円）となっており、いずれも東京都よりも高くなっている。（令和4年度）



出典：KDB_S23_003_疾病別医療費分析（大分類）【令和4年度】

生活習慣関連疾患 疾病別医療費割合

生活習慣病関連疾患の医療費は、全体の51%を占めており、生活習慣病医療費は、がん(32%)、筋・骨格(16%)、精神(13%)で約6割を占めている。残りの生活習慣病医療費割合は、慢性腎不全(12%)、糖尿病(10%)、高血圧症(6%)、脳疾患(4%)、脂質異常症(4%)となっている。(令和4年度)

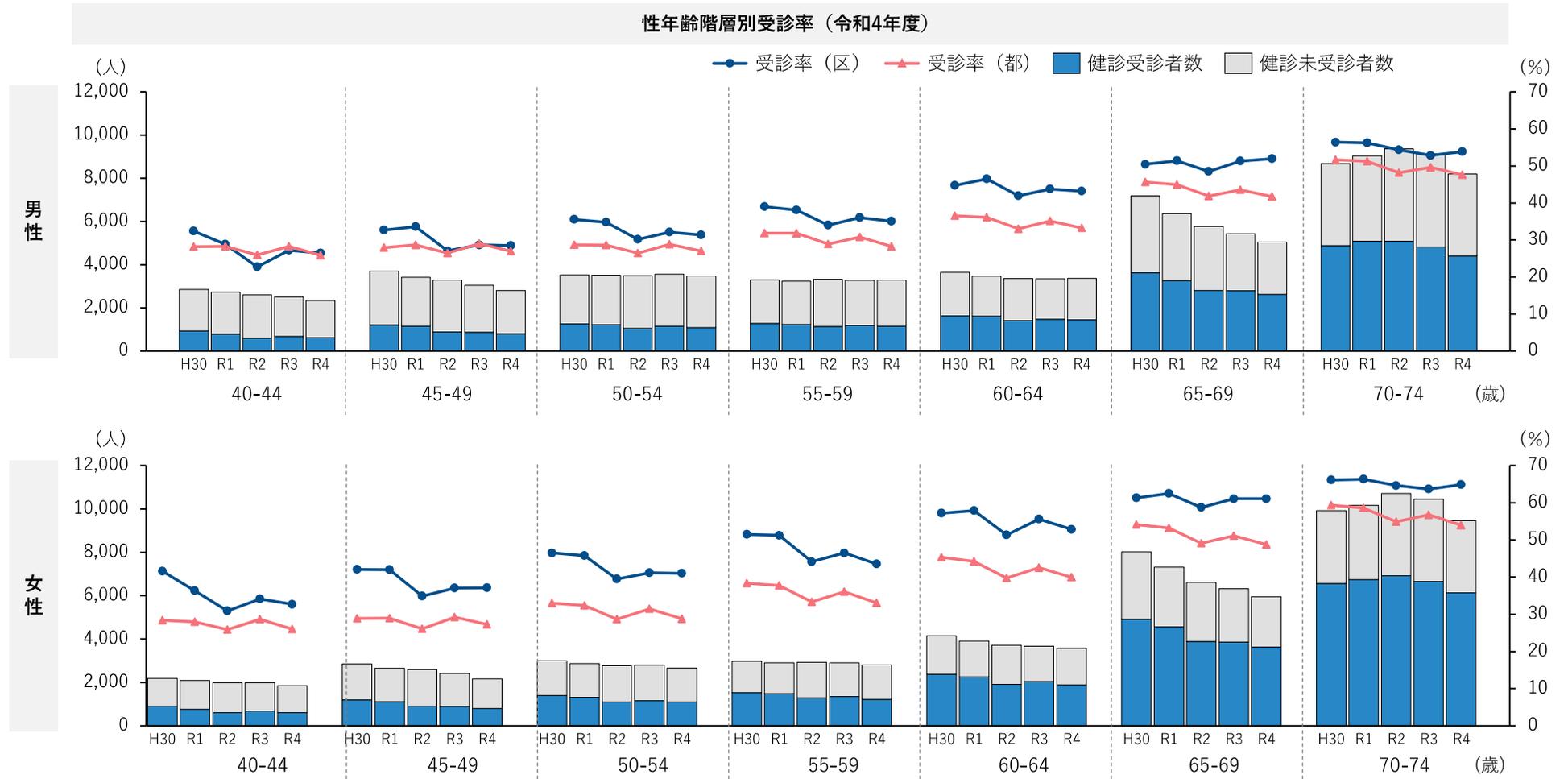


生活習慣病カテゴリ	生活習慣病(詳細)
慢性腎不全	慢性腎臓病(透有)/慢性腎臓病(透無)
脳疾患	動脈硬化症/脳出血/脳梗塞
心疾患	狭心症/心筋梗塞
その他	高尿酸血症/脂肪肝

出典：KDB_S21_005_市町村別データ、KDB_S21_003_健診・医療・介護データから見る地域の健康課題【令和4年度】

受診率及び受診者数・未受診者数性年齢階層別

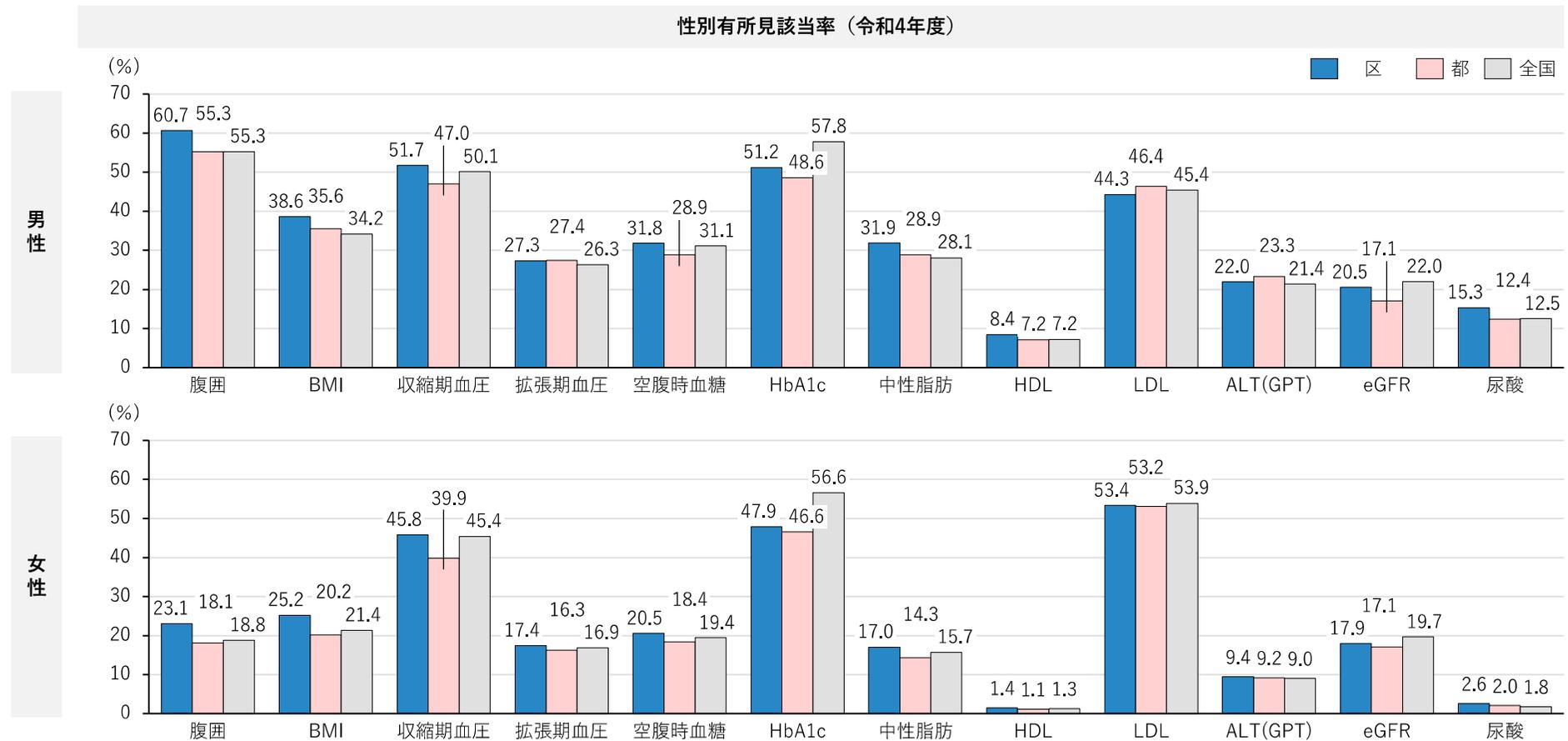
特定健診の東京都との比較(性・年齢別)では、男性の40-49歳以外の年代においては5年連続で都の受診率を上回っている。(令和4年度)



出典: KDB_S21_008_健診の状況【令和4年度】

有所見の状況 全体

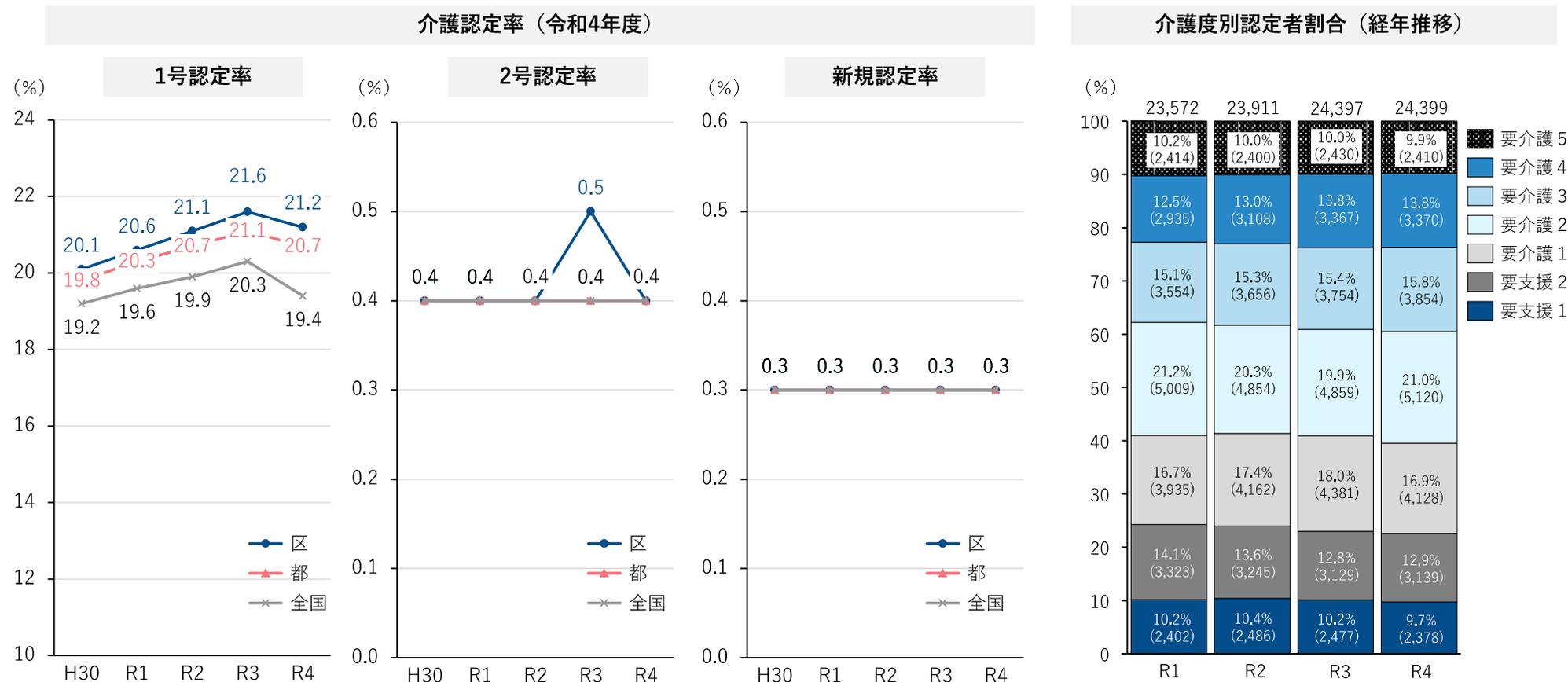
生活習慣病リスク保有者の割合を東京都と比較すると、男性の腹囲（60.7%）、BMI（38.6%）、収縮期血圧（51.7%）、空腹時血糖（31.8%）、HbA1c（51.2%）、中性脂肪（31.9%）、HDL（8.4%）、eGFR（20.5%）、尿酸（15.3%）が東京都や全国に比べて高くなっている。女性では、すべての項目が東京都に比べて高くなっている。（令和4年度）



出典：KDB_S21_024_厚生労働省様式（様式5-2：健診有所見者状況）【令和4年度】

介護認定率、介護度別認定者数割合

介護認定率の1号認定率は21.2%で、東京都平均（20.7%）よりも高い。
新規認定率は0.3%で、全国平均（0.3%）と変わらない。（令和4年度）

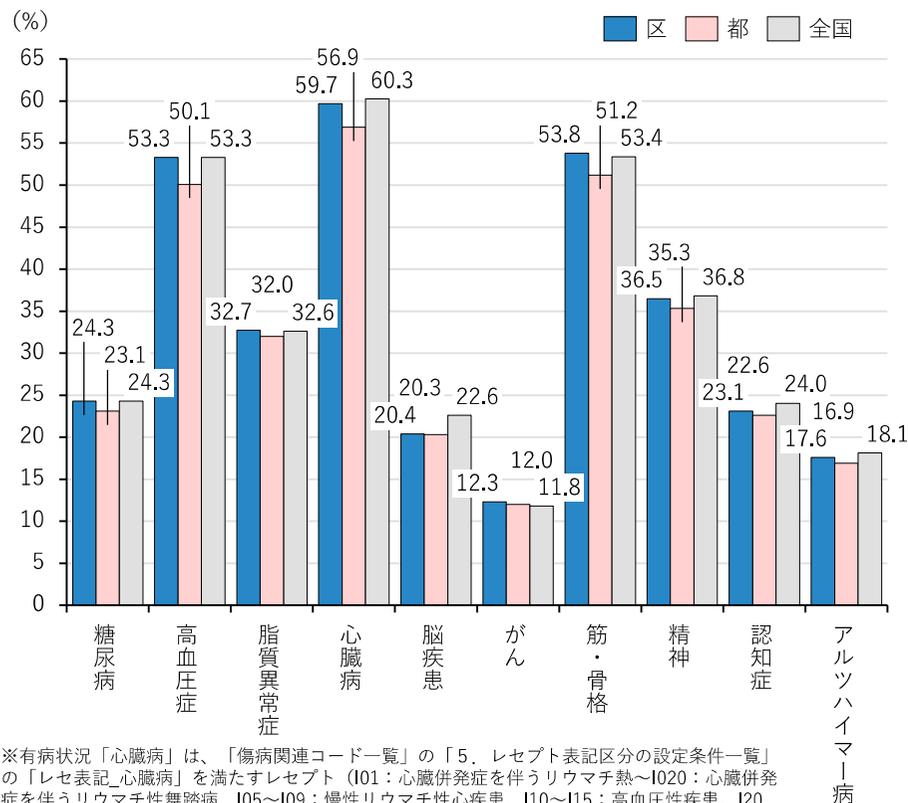


出典：介護認定率：KDB_S21_001（地域の全体像の把握）/介護度別認定率：KDB_S24_001（要介護（支援）者認定状況）

要介護認定者の状況

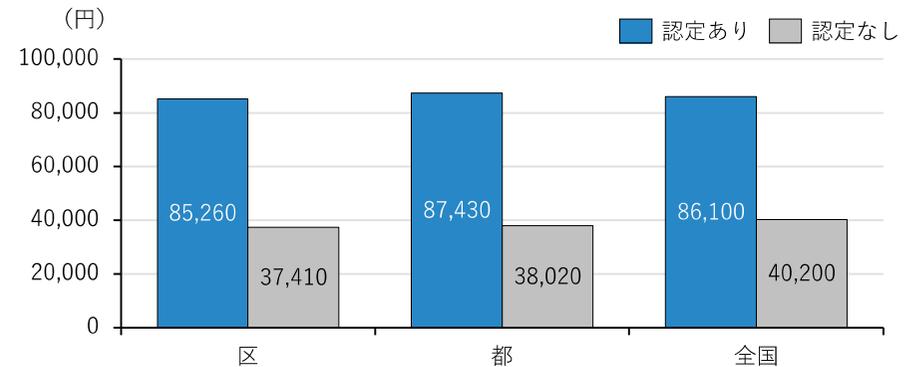
要介護認定者の有病状況は、心臓病（59.7％）が一番高く、次に筋・骨格系（53.8％）となっている。心臓病および筋・骨格系については東京都平均よりも高い。要介護認定者と非認定者におけるレセプト1件当たり医療費は、要介護認定者（85,260円）の方が高く、さらに要介護認定者のレセプト1件当たり医療費は、東京都平均（87,430円）よりも低い。（令和4年度）

有病状況（令和4年度）

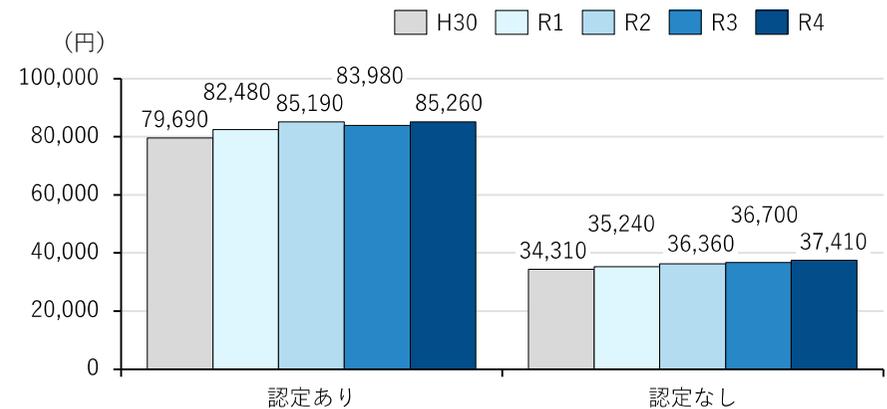


※有病状況「心臓病」は、「傷病関連コード一覧」の「5. レセプト表記区分の設定条件一覧」の「レセ表記_心臓病」を満たすレセプト（I01：心臓併発症を伴うリウマチ熱～I020：心臓併発症を伴うリウマチ性舞蹈病、I05～I09：慢性リウマチ性心疾患、I10～I15：高血圧性疾患、I20～I25：虚血性心疾患、I27：その他の肺性心疾患、I30～I52：その他の型の心疾患）を集計していることから、高血圧性疾患が含まれている。

レセプト1件当たり医療費（令和4年度）



レセプト1件当たり医療費（経年推移）



出典：KDB_S21_001_地域の全体像の把握【平成30年度～令和4年度】

重複・頻回受診の状況

重複・頻回受診者（受診日数14日以上かつ3医療機関）が被保険者全体の0.070%（64人）いる（令和5年3月診療分）。

■ 重複・頻回受診の状況（同一月に14日以上を受診）

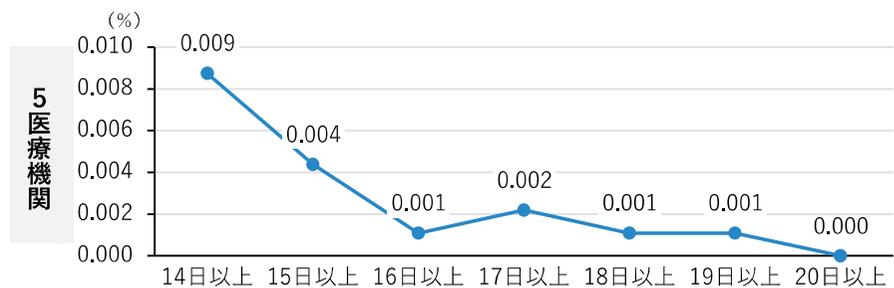
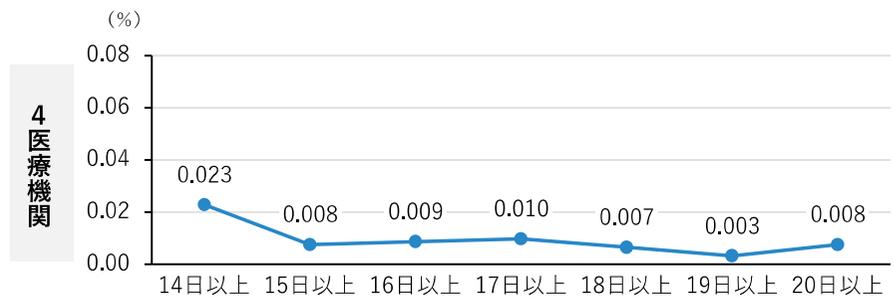
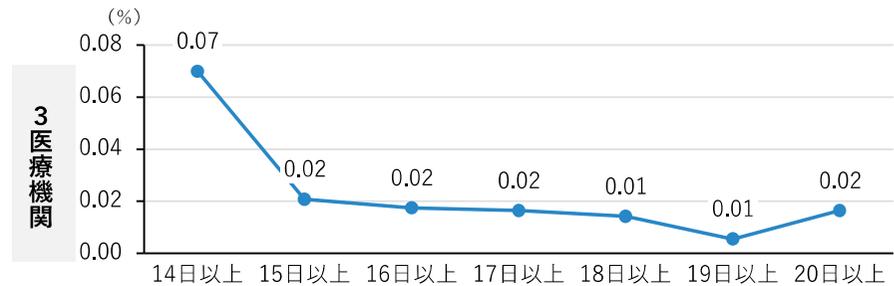
被保険者数	91,545
-------	--------

■ 人数 単位：人

	14日以上	15日以上	16日以上	17日以上	18日以上	19日以上	20日以上
1医療機関以上	213	49	26	32	27	16	69
2医療機関以上	139	41	22	27	23	11	47
3医療機関以上	64	19	16	15	13	5	15
4医療機関以上	21	7	8	9	6	3	7
5医療機関以上	8	4	1	2	1	1	0

■ 割合 単位：%

	14日以上	15日以上	16日以上	17日以上	18日以上	19日以上	20日以上
1医療機関以上	0.233	0.054	0.028	0.035	0.029	0.017	0.075
2医療機関以上	0.152	0.045	0.024	0.029	0.025	0.012	0.051
3医療機関以上	0.070	0.021	0.017	0.016	0.014	0.005	0.016
4医療機関以上	0.023	0.008	0.009	0.010	0.007	0.003	0.008
5医療機関以上	0.009	0.004	0.001	0.002	0.001	0.001	0.000



出典：KDB_S27_012_重複・頻回受診の状況【令和4年度（作成年月令和5年3月使用）】

重複・多剤処方状況

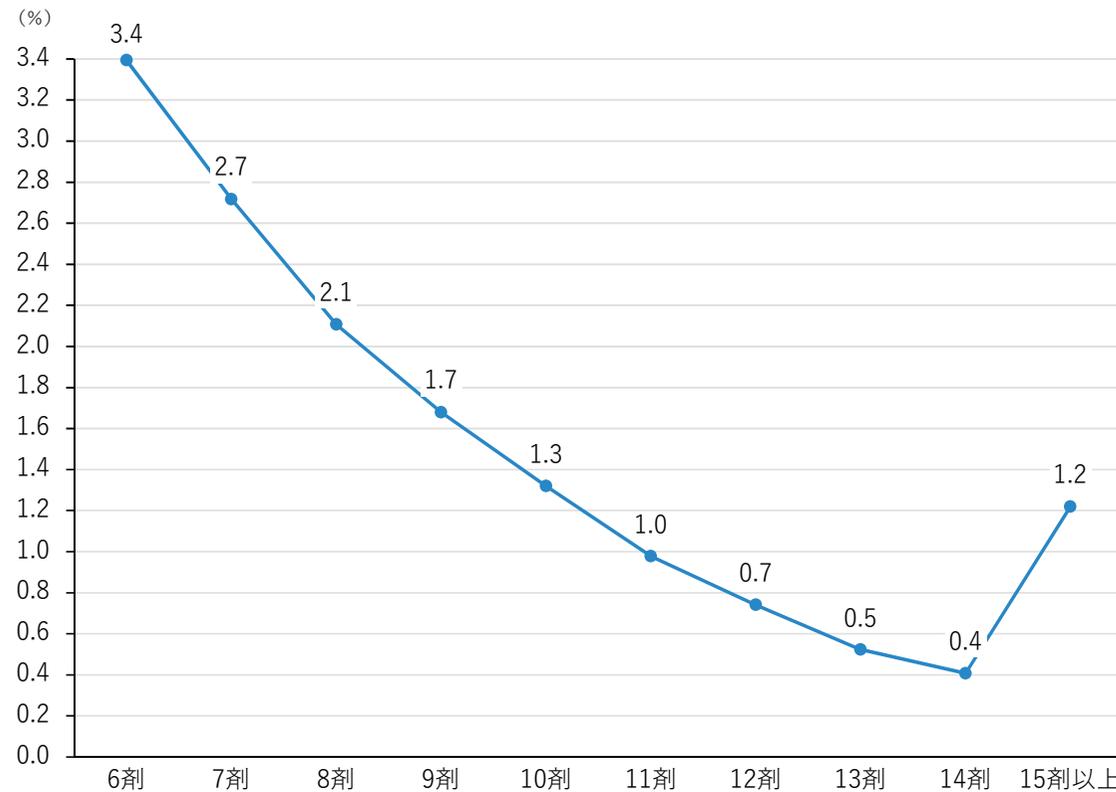
重複・多剤処方対象者（処方日数14日以上かつ6剤以上）が被保険者全体の15.0%（13,807人）いる（令和5年3月診療分）。

■重複・多剤処方の状況（処方日数14日以上に該当）の対象者

被保険者数	91,545
-------	--------

単位：人、%

薬剤数	該当者数	割合
6剤	3,106	3.4
7剤	2,487	2.7
8剤	1,928	2.1
9剤	1,537	1.7
10剤	1,208	1.3
11剤	895	1.0
12剤	678	0.7
13剤	479	0.5
14剤	373	0.4
15剤以上	1,116	1.2

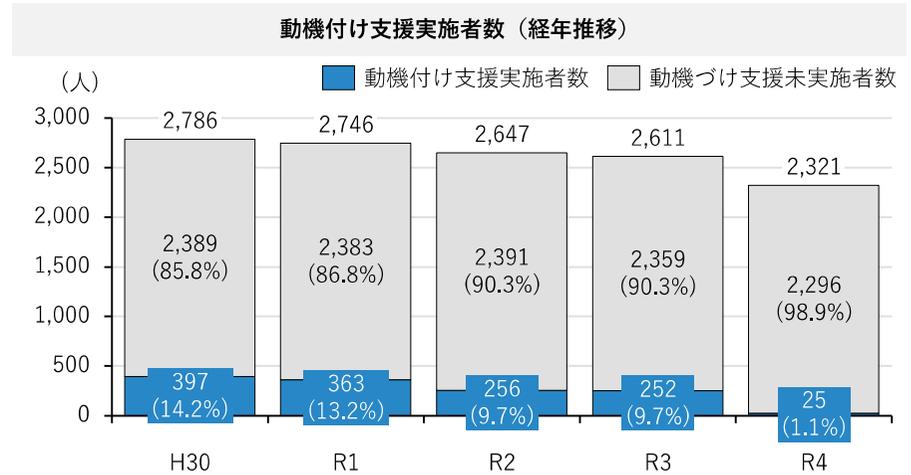
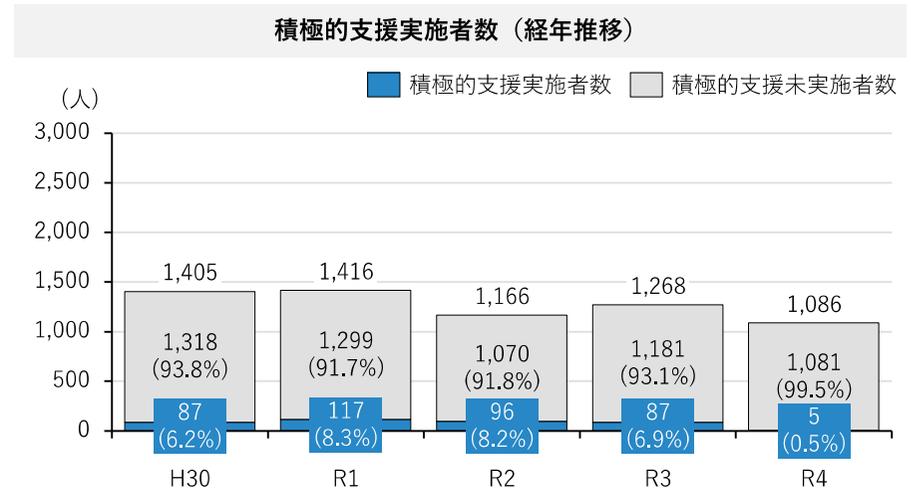
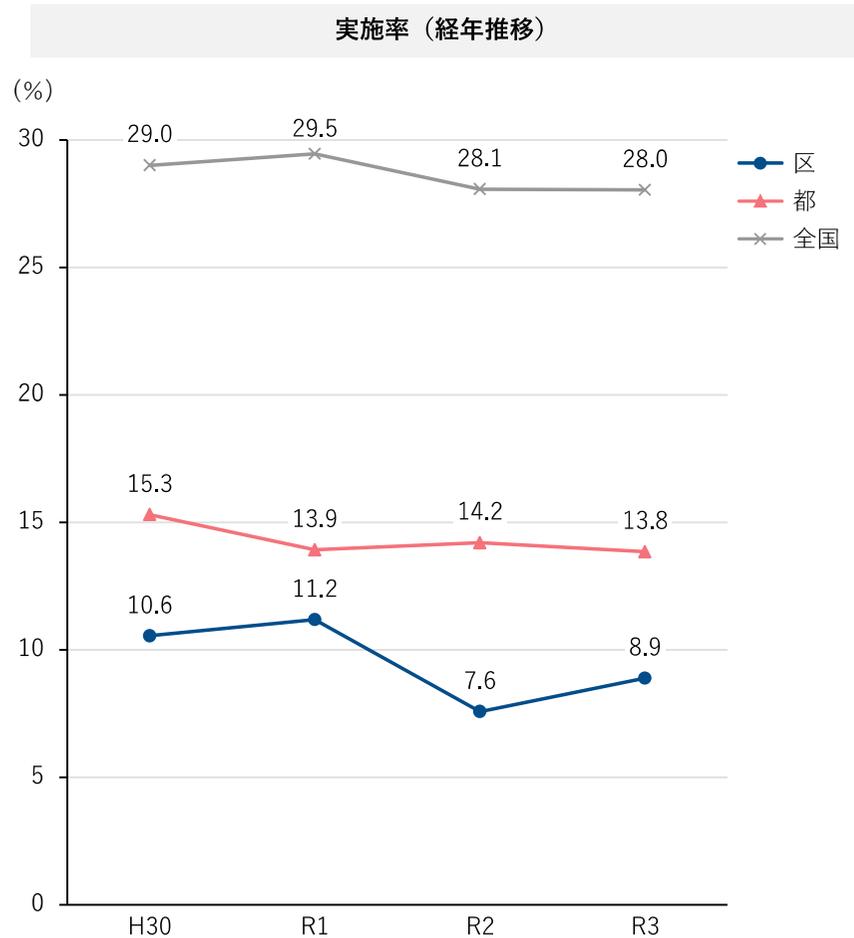


出典：KDB_S27_013_重複・多剤処方の状況【令和4年度（作成年月令和5年3月使用）】

R4年度データ未確定値

実施率及び実施者数

令和3年度の特定保健指導の実施率は8.9%で東京都平均（13.8%）や全国平均（28.0%）よりも低くなっている。

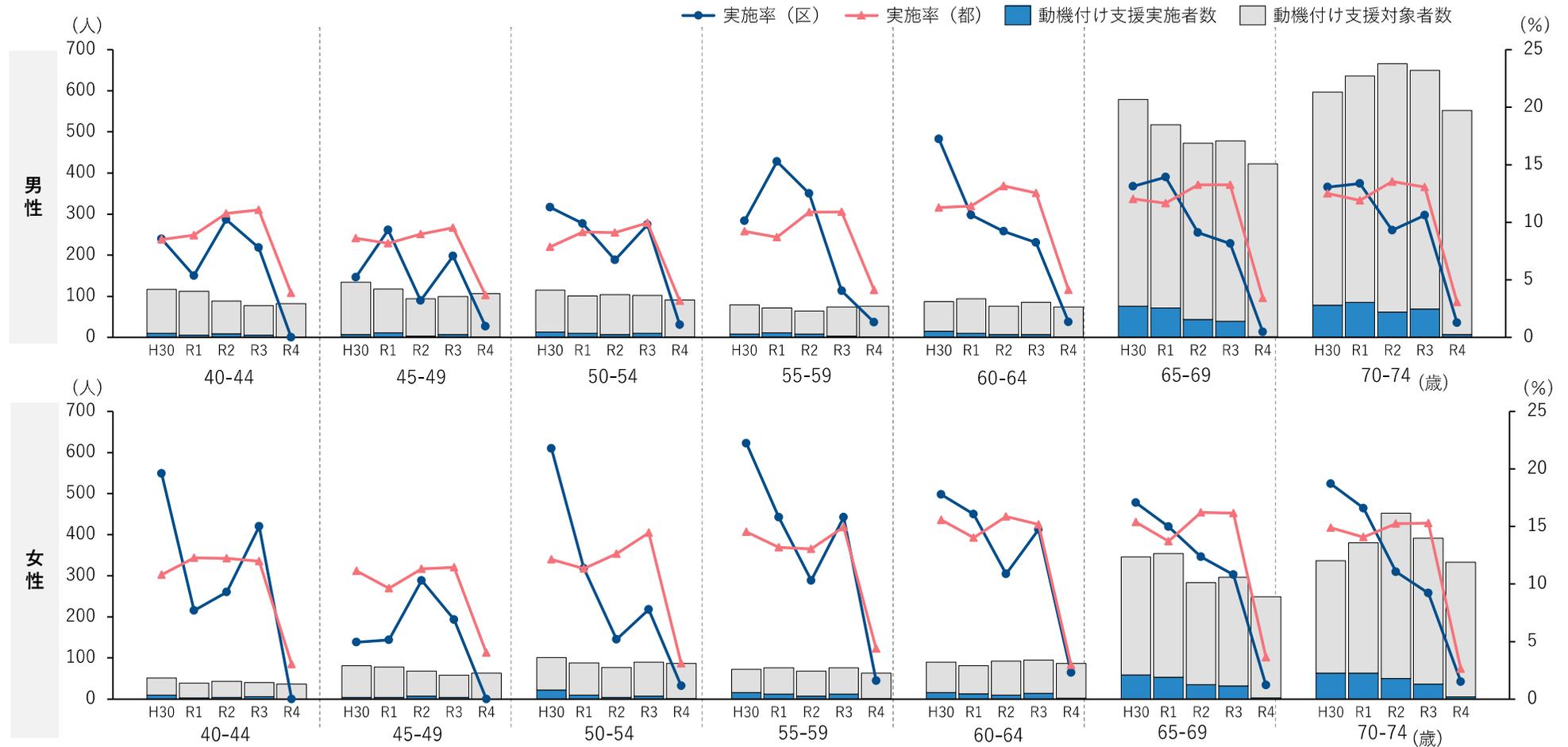


出典：厚生省、2018～2021年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況（保険者別） / KDB_S21_008_健診の状況【平成30年度～令和4年度】

R4年度データ未確定値

実施率及び実施者数(動機付け支援) 性年齢階層別

動機付け支援は、45-49歳の男女を除くすべての年代で平成30年度には東京都の実施率を上回っていたが、令和4年度にはすべての年代で東京都より実施率が低くなっている。



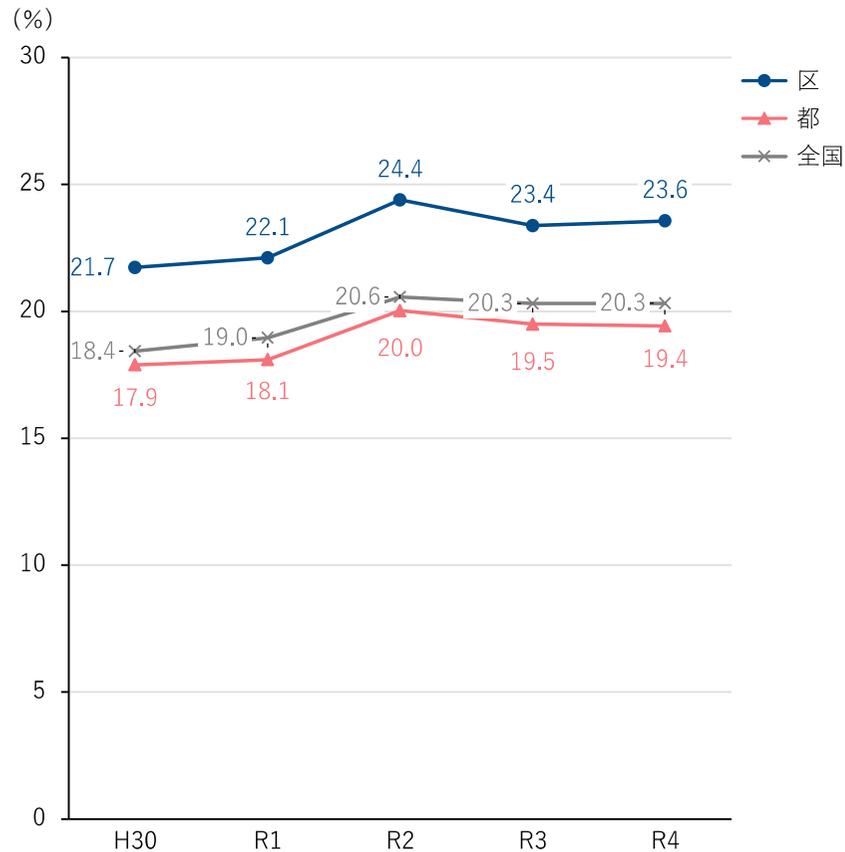
出典：KDB_S21_008_健診の状況【平成30年度～令和4年度】

R4年度データ未確定値

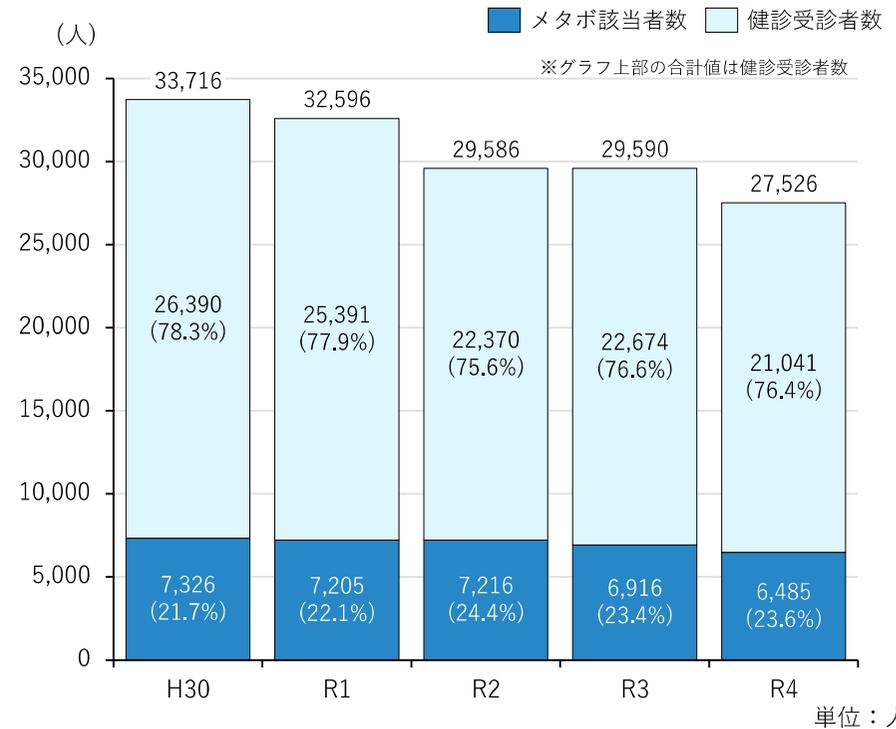
メタボリックシンドローム該当者率及び該当者数

メタボリックシンドロームの該当者割合は23.6%であり、東京都平均（19.4%）より高い。（令和4年度）

該当者率（経年推移）



該当者数（経年推移）



	H30	R1	R2	R3	R4
該当者数	7,326	7,205	7,216	6,916	6,485
健診受診者数	33,716	32,596	29,586	29,590	27,526

単位：人

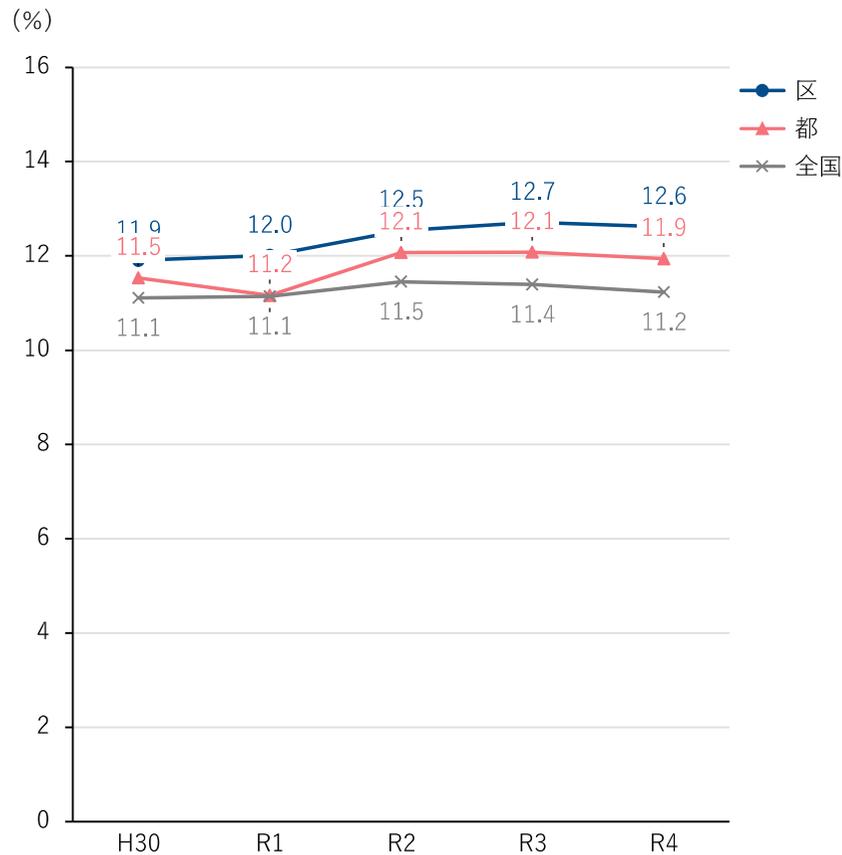
出典：KDB_S21_003_健診・医療・介護データからみる地域の健康課題【平成30年度～令和4年度】

R4年度データ未確定値

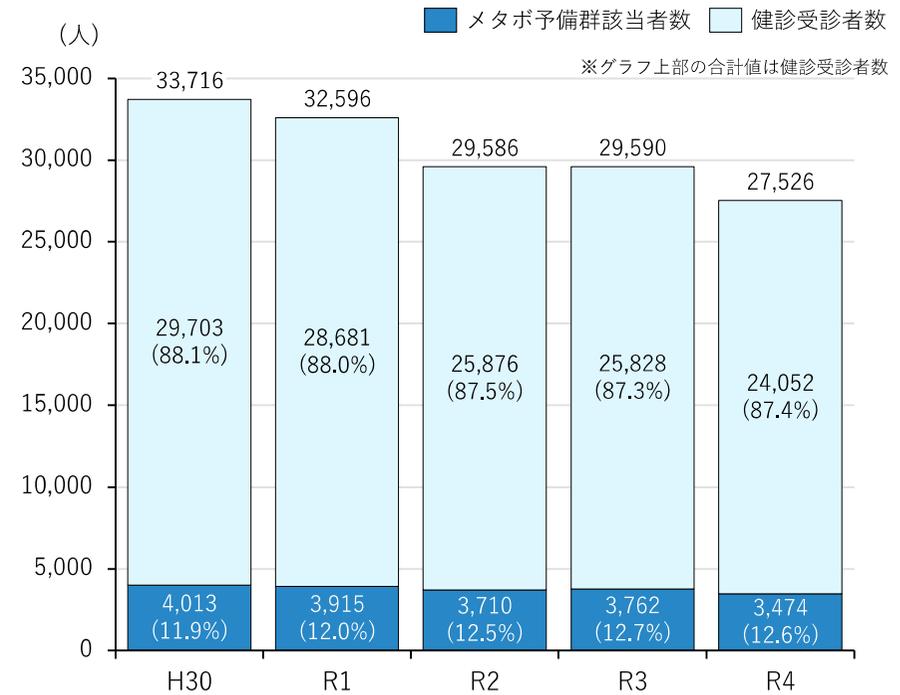
メタボリックシンドローム予備群該当者率及び該当者数

メタボリックシンドローム予備群の該当者割合は12.6%であり、東京都や全国に比べて高くなっている。(令和4年度)

該当者率 (経年推移)



該当者数 (経年推移)



単位：人

	H30	R1	R2	R3	R4
該当者数	4,013	3,915	3,710	3,762	3,474
健診受診者数	33,716	32,596	29,586	29,590	27,526

出典：KDB_S21_008_健診の状況【平成30年度～令和4年度】